

取扱説明書

フェイス2型

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

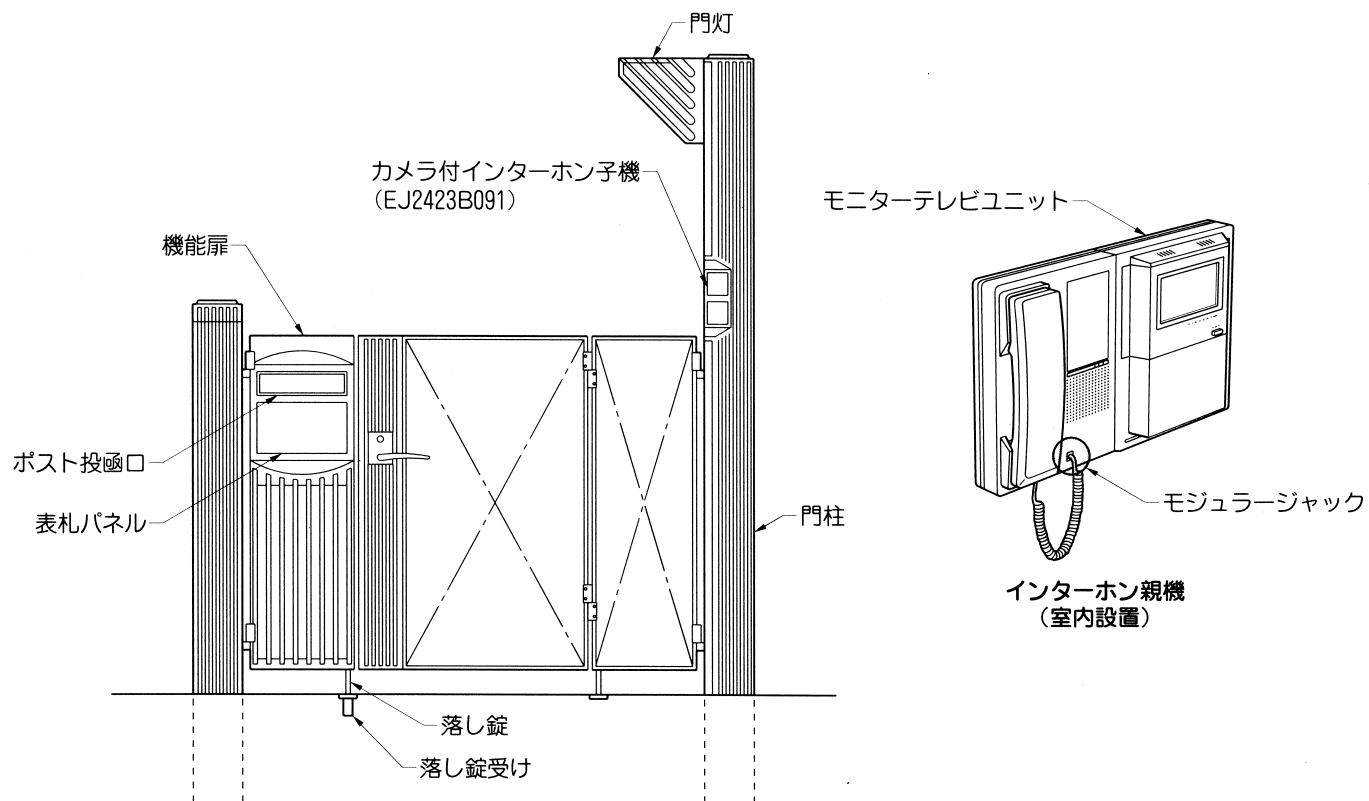
もくじ

1.各部の名称	1
2.安全のために必ず守ってください	2
3.使用方法	3
3-1 ポスト扉の開閉方法	3
3-2 ネームシールの貼り方	4
3-3 インターホンの通話方法	5
3-4 モニターテレビユニットの操作方法	6
3-5 門灯	6
3-6 落とし錠の操作方法	7
3-7 ご注意とお願い	8
4.調整および交換方法	9
4-1 インターホン親機の音量調整	9
4-2 カメラ付インターホン子機のカメラ角度調整	9
4-3 モニターテレビユニットの映像調整	10
4-4 門灯の蛍光灯・グローランプの交換	10
5.お手入れについて	11
6.修理を依頼する前に	12
7.修理	13
8.別売り品	13
9.仕様	14

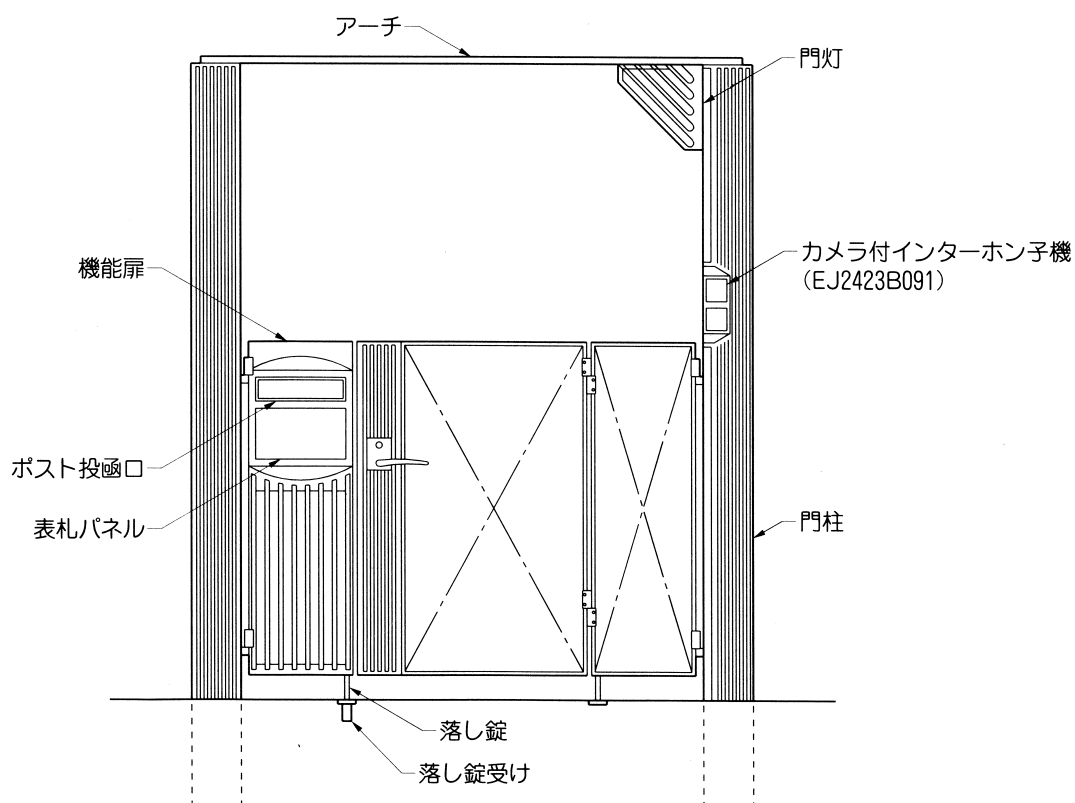
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

1 各部の名称

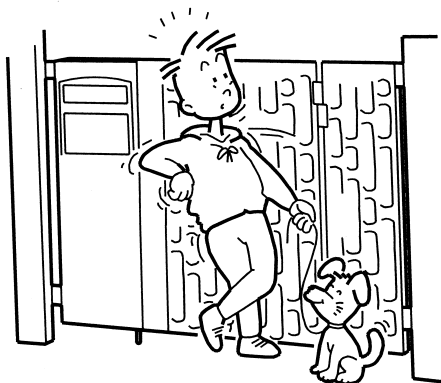
(1) 門柱仕様



(2) アーチ仕様



2 安全のために必ず守ってください



門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。けがをする危険があります。



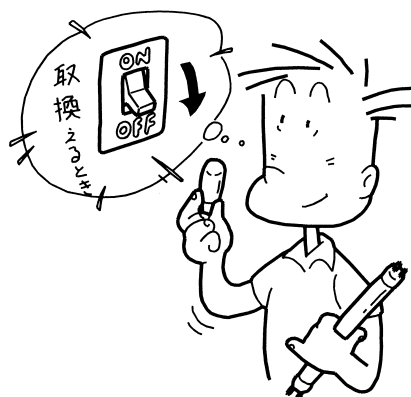
機能扉(受扉)側の落とし錠は必ず落して門扉の開閉を行なってください。



強風時には必ず施錠してください。強風にあおられ扉が開き、人に当たる危険があります。



ポスト投函口にむやみに手や指を入れると、けがする危険がありますのでご注意ください。



蛍光灯、グローランプなどを取換えるときには、必ず電源を切ってから行なってください。感電する危険がありますのでご注意ください。

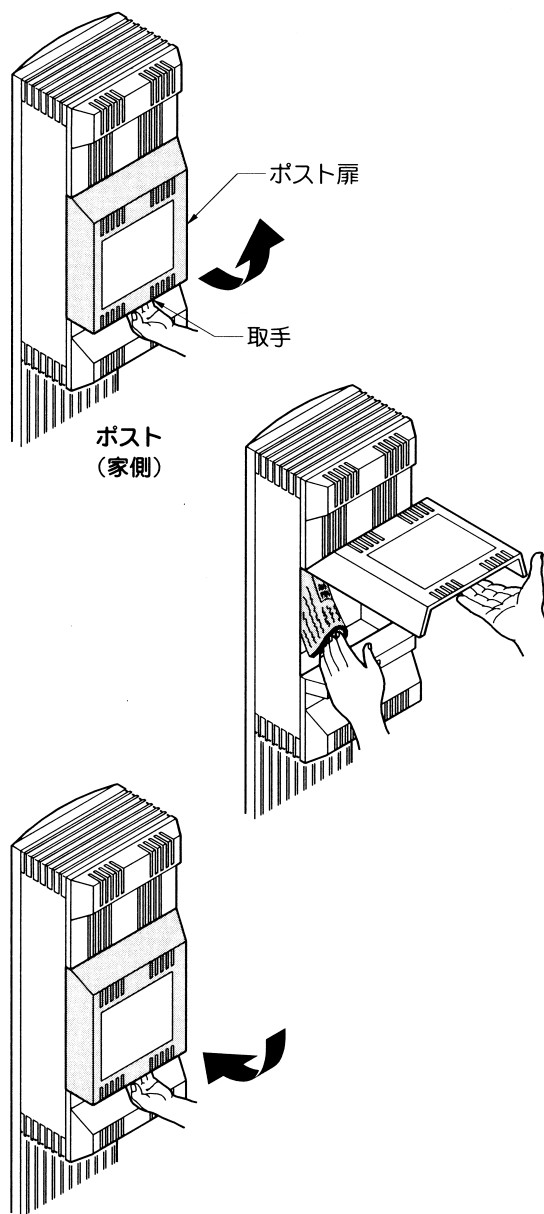


仕様に表記された電源・電圧以外の電圧は使用しないでください。火災、感電の危険があります。

3 使用方法

3-1 ポスト扉の開閉方法

ポストの中に投函物が入っているときは、次の手順で取出してください。



①ポスト(家側)のポスト扉の開閉は、必ず取手を持って静かに上に引き上げます。

②ポスト扉を上へ引き上げたまま、投函物などを取出します。

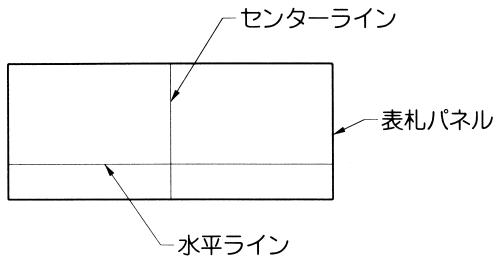
③投函物取出してから、ポスト扉を静かに下げて閉めます。

ご注意

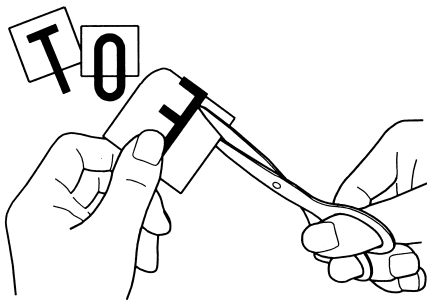
- ポストは郵便物や新聞などを受け入れるものです。その他の目的に使用しないでください。
- 風雨の強いときは、雨水が入り投函物を濡らす恐れがあります。早目に投函物取出してください。
- ポスト扉は投函物を確実に取出してから静かに下げてください。扉で手をはさむ危険があります。
- ポスト扉は必要以上に上へ引き上げないでください。ポスト扉の丁番部分を損傷する恐れがあります。

3-2 ネームシールの貼り方

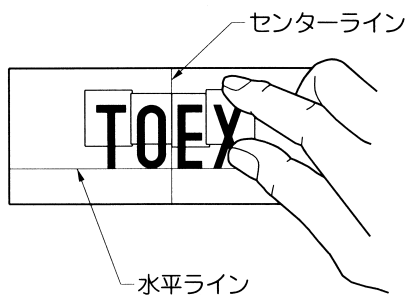
表札用にネームシール(アルファベット文字)が用意されています。ご希望に応じて次の要領で表札パネルに貼ってください。



①表札パネルにあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引きます。



②文字を切らないように裏紙のみをハサミで5分の1程度切ります。



③水平ラインと文字の位置を合わせ、文字をセンターラインから左右に等間隔になるよう仮貼りします。

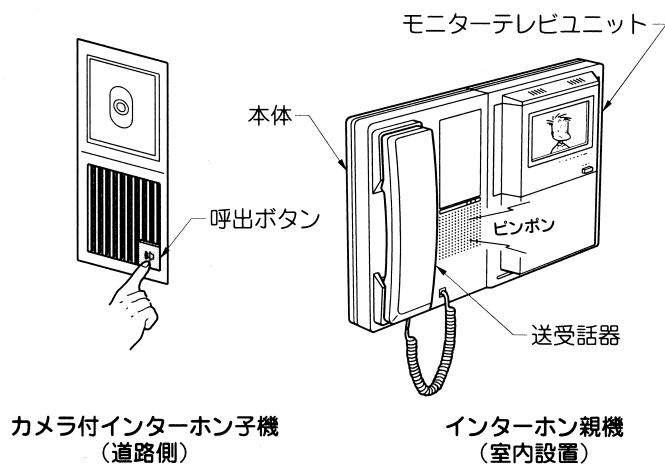


④シールが表札パネルからはがれないように裏紙をはがし、センターラインと水平ラインを消します。

3-3

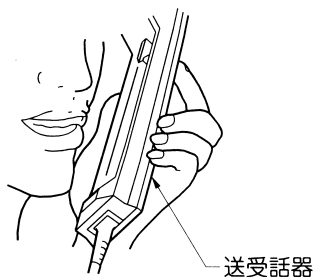
インターホンの通話方法

インターホン(道路側)の呼出ボタンが押された場合、インターホン親機の呼出音「ピンポン」が鳴り、モニターテレビユニットの映像が映し出されますので、次の手順で操作をしてください。



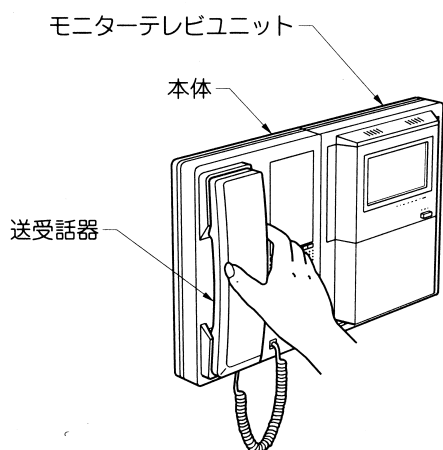
①カメラ付インターホン子機(道路側)の呼出ボタンが押されると、インターホン親機(室内設置)の呼出音「ピンポン」が鳴り、モニターテレビユニットの映像が映し出されます。

- 映像がはっきりと映し出されるまで約8秒かかります。



②本体から送受話器を取って通話します。

- 約30秒送受話器を取らないときは、モニターテレビが自動的に切れます。
- 通話時間3分でモニターテレビは自動的に切れます。



③通話終了後、送受話器を本体にもどします。

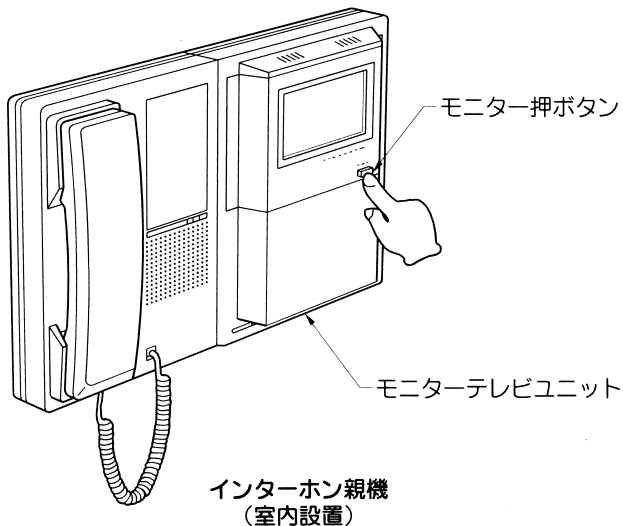
- モニターテレビは自動的に切れます。

ご注意

- 当社指定のインターホン親機(松下電工製WQN2400W)以外の親機を希望される場合には、弊社または親機メーカーにインターホン子機の形式名(松下電工製EJ2423B091)を指定し、ご確認のうえ購入してください。
- インターホン親機と子機の対応が合わない場合、使用できませんので必ず確認してください。
- くわしい内容は、インターホン親機の取扱説明書をお読みください。

3-4 モニターテレビユニットの操作方法

モニターテレビ(室内)から玄関先を見るときは、次の手順で操作をしてください。



①モニターテレビユニットのモニター押ボタンを押します。

②再度モニターボタンを押すと画面は消えます。

- 映像が映し出された状態で30秒以上放置すると、映像は自動的に消えます。

ご注意

- モニターテレビの近くに強い磁気を発生するものがあると、映像が乱れる場合がありますのでご注意ください。
- モニターカメラ部に直接日光などの強い光が入ると、撮像管が焼き付き現象を起こし、撮像できなくなったり、斑点が生じることがあります。

3-5 門灯

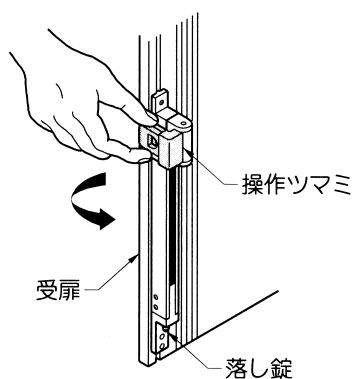
フェイス2型には、門灯の(点灯/消灯)電源スイッチは付いていません。
施主様または施工店様で用意されたスイッチにて電源の入、切を行なってください。

ご注意

- 電気工事は、電気工事店(電気工事有資格者)にご依頼ください。

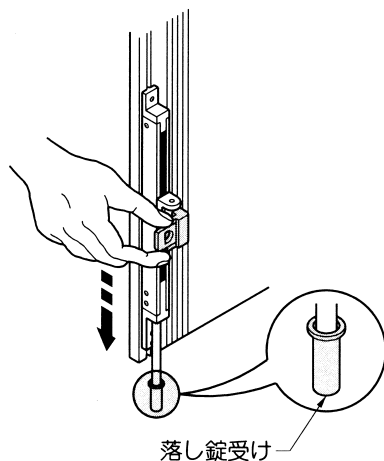
3-6 落とし錠の操作方法

落とし錠を下げる場合は、次の手順で操作をしてください。

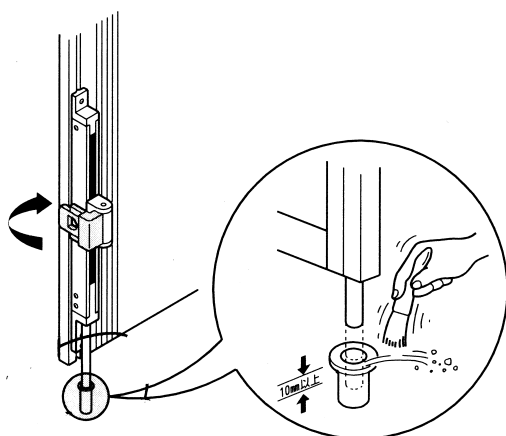


① 落とし錠が上がっているロック状態から操作ツマミを引き起こします。

- 落とし錠がロック解除されます。



② 操作ツマミを持ち下げ、落とし錠受けに納めます。



③ 操作ツマミを倒します。

- 落とし錠がロックされます。
- 落とし錠受けの土砂は、落とし錠の掛かりが10mm以下になる前に取り除いてください。

ご注意

- 受扉を閉めたときは、必ず落とし錠を下げてください。
- 落とし錠を上げる場合は、逆の操作をしてください。

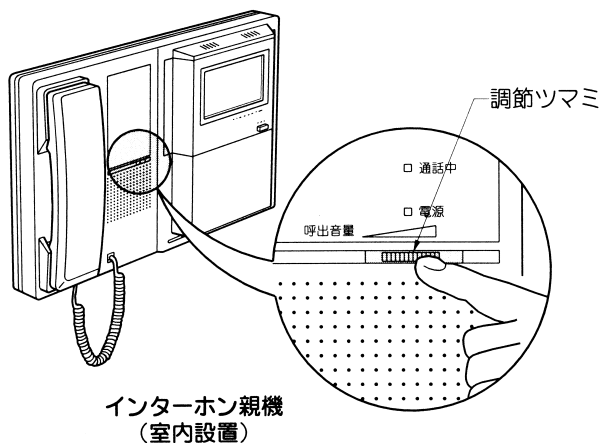
3-7 ご注意とお願い

- ボールをぶつけるなど強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
また、門灯やカメラ付インターホン子機のカメラが割れ、けがをする危険があります。
- ポストは郵便物や新聞などを受け入れるものです。その他の目的に使用しないでください。
- 投函口にむやみに手は入れないでください。けがをする危険があります。
- 風雨の強いときは、雨水が入り投函物を濡らす恐れがあります。早目に投函物を取り出してください。
- ポスト扉は投函物を確実に取出してから静かに下げてください。扉で手をはさむ危険があります。
- ポスト扉は必要以上に上へ引き上げないでください。ポスト扉の丁番部分を損傷する恐れがあります。
- インターホン親機とインターホン子機の対応が合わない場合、使用できませんので必ず確認してください。
- インターホン親機を高温になるところ(直射日光、ボイラ、直接暖房熱が当たる)、または低温になるところ(冷凍倉庫など)に設置しないでください。故障の原因となります。
- インターホン親機は水、油、鉄粉、薬品などでぬれたり、よごれたりしないところに設置してください。故障の原因となります。
- モニターテレビの近くに強い磁気を発生するものがあると、映像が乱れる場合がありますのでご注意ください。
- モニターカメラ部に直接日光などの強い光が入ると、撮像管が焼き付き現象を起こし、撮像できなくなったり、斑点が生じることがあります。
- 門灯などを取換えるときには、必ず電源を切ってから行なってください。感電する危険があります。
- 門灯の蛍光灯は、指定ワット数以上は絶対に使用しないでください。
- 製品の分解や改造はしないでください。
- 製品に関する移設・増設などは、施工店・電気工事店(電気工事有資格者)または最寄りの東洋工クステリア各支店・営業所にご相談ください。

4 調整および交換方法

4-1 インターホン親機の音量調整

設置場所などの状況に応じて音量を調整してください。



①呼出音量は音量調節ツマミを移動させ調整します。

- 右方向へ移動すると大きくなります。
- 左方向へ移動すると小さくなります。

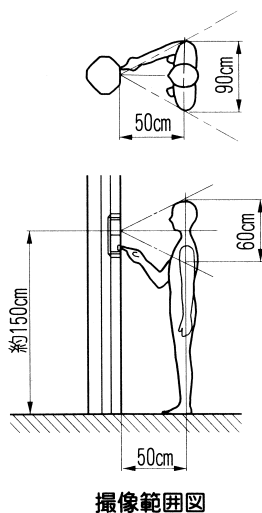
ご注意

- インターホン子機からの呼出テストやインターホン親機からの呼出音量確認には、必ず送受話器を本体にセットした状態で行ってください。耳を痛める恐れがあります。

4-2 カメラ付インターホン子機のカメラ角度調整

モニターカメラは通常下図の範囲を映し出します。

撮像範囲(カメラ角度)を変えるときには、次の手順で調整してください。

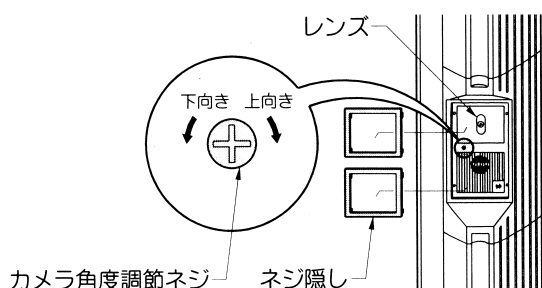


①カメラ付インターホン子機のネジ隠しをはずします。

②カメラ角度調節ネジをドライバーなどでゆっくり回転させて調整します。

- 下記の表を参照してください。

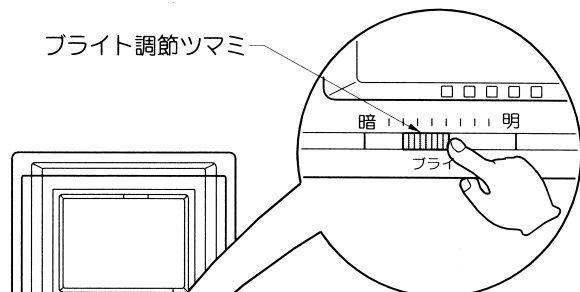
レンズ角度	撮影可能身長
上向き21度 (右に回転して止まる位置)	約165cm～219cm
下向き0度 (左に回転して止まる位置)	約144cm～185cm



4-3 モニターテレビユニットの映像調整

見やすい映像に調整してご使用ください。

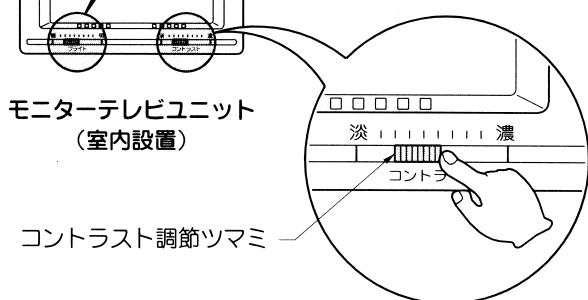
(1) 画面の明るさ調整



①画面の明るさはブライト調節ツマミを移動させ調整します。

- 右方向へ移動すると明るくなります。
- 左方向へ移動すると暗くなります。

(2) 画面コントラスト調整

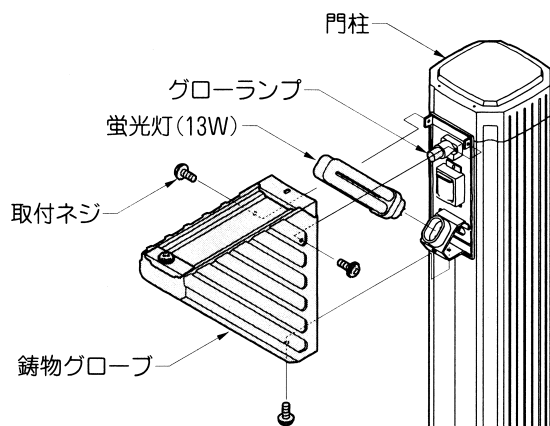


①画面の濃淡はコントラスト調節ツマミを移動させ調整します。

- 右方向へ移動すると濃くなります。
- 左方向へ移動すると淡くなります。

4-4 門灯の蛍光灯・グローランプの交換

蛍光灯・グローランプが切れたときには、次の手順で交換してください。



①鋳物グローブの取付ネジをはずし、鋳物グローブを門柱からはずします。

②蛍光灯またはグローランプをはずし、新しいものと交換します。

③交換が終わりましたら、鋳物グローブを門柱にネジで取付けます。

ご注意

- 電源が「切」になっていることを確認したうえで交換をしてください。
- 指定ワット数13Wの蛍光灯を使用してください。鋳物グローブなどの変形の原因になります。

5 お手入れについて

(1) 年に2～3回水洗いをし拭きとってください



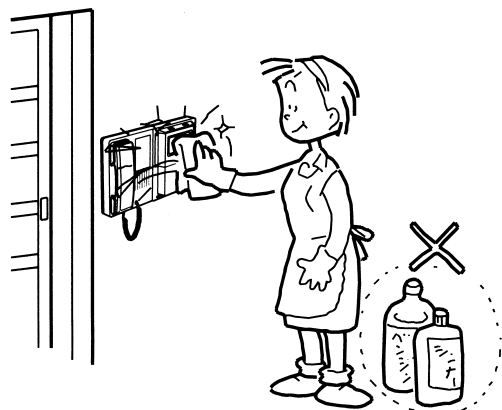
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らぬようよく水洗いをし拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたりすることがあります。
- カメラ付インターホン子機には、ホースなどで直接打ち水をしないでください。故障の原因となります。

(2) キズは補修してください



- あやまってキズをつけた場合、当社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐蝕の原因となります。

(3) モニターテレビの清掃



- モニターテレビが汚れた場合には、柔らかい布でからぶきしてください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。故障の原因となります。

6 修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときには修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
門灯が点灯しない	電源スイッチが「切」になっていませんか。	電源スイッチを「入」にセット
	蛍光灯、グローランプが寿命で切れていませんか。 • 短期間(1週間以内)で蛍光灯が切れる場合、安定器の故障が考えられます。	蛍光灯、グローランプを新しいものと交換 (10ページ参照) 修理を依頼
インターホンで正常な呼出し、通話ができない	送受話器のモジュージャックがぬけていませんか。	モジュージャックを差し込む (1ページ参照)

ご注意

- 配線工事は、電気工事店(電気工事有資格者)にご依頼ください。

7 修理

製品に異常が生じたときは、施工店または、最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく
製 品 名	製品にシール表示してある製品名
施 工 日	年 月 日
ご 氏 名	
ご 住 所	
電 話 番 号	
道 順	付近の目印などもお知らせください

8 別売り品

下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- インターホン副親機
- 折戸キャスター
- 補修塗料

あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。

9 仕様

カメラ付インターホン(親機・子機)

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	45W
通話方式	電話スピーカー形同時通話
配 線 数	2線式(極性なし)

門灯

電 源	AC100V 50/60Hz
使用電球	FPL-18EX(13W)

東洋エクステリア株式会社

東北支店 022-384-5461(代)
関東支店 03-3290-8510(代)
中京支店 052-807-5501(代)
関西支店 06-330-3631(代)
中国支店 086-281-3631(代)
九州支店 0943-32-3100(代)

札幌営業所 011-783-7727(代)
静岡営業所 0545-64-8831(代)
長野営業所 0262-63-0861(代)
広島営業所 082-234-4440(代)
南九州営業所 0992-56-8955(代)
千葉出張所 0471-63-7888(代)
埼玉出張所 0495-77-1777(代)

取説コード

UA 006

IE-I①